

止まり木



令和6年（2024年）

7月29日発行

第16号

大阪市立横堤中学校

さあ！始まりました。



7月26日から、第33回オリンピック競技大会がフランス・パリを中心に開催されました。パリでオリンピックが開催されるのは1900年、1924年に続き3回目となります。本大会では、32競技329種目が実施され、開会式はパリ中心部を流れるセーヌ川が舞台となり、史上初の水上での開会式となりました。開会式前にサッカー男子の試合があり、強豪パラグアイに5対0で圧勝するという幸先の良いスタートなりました。日本最初のメダルは柔道女子48キロ級の角田選手の金メダルでした。

このメダルが日本の通算500個目のメダルとなる記念すべき勝利でもありました。全試合をテレビで見ましたが、とにかく強かったです！同じ柔道では男子60キロ級で永山選手が銅メダル、阿部一二三選手が男子66キロ級で見事に金メダル、東京オリンピックからの大会2連覇を達成しました。残念ながら妹の阿部詩選手は2回戦で敗退。衝撃でした。校長先生もテレビで見ていましたが、しばらく固まってしまいました。金メダルの最有力候補であり、私たちも金メダルを取ることを確信するぐらい強い選手です。本当に信じられませんでした。しかし、**勝負にはやはり絶対はない**ということを教えられた気がします。彼女のことだからまたすぐに立ち上がって次の目標に向かってスタートを切ってくれると信じています。がんばれ！

他には水泳男子400M個人メドレーに出場した松下選手が銀メダル、フェンシング男子エペ個人に出場した加納選手がフェンシングでは日本人初の金メダルを獲得しました。

そして何より**「金に恋した14歳！」**の名実況が、前回大会に続いて飛び出したスケートボード女子ストリートに出場した14歳、吉沢恋（ここ）選手が金メダルを獲得。15歳赤間選手も銀メダルを獲得し、日本の強さを見せつけてくれました。みんなと同じ年代の選手の活躍が本当にうれしく、いつかまた、みんなの中からもこんな風に世界で活躍する選手が出てくると期待しています。まだこれから熱戦が続きます。少し寝不足になりますが、頑張ってテレビの前で応援をしたいと思っています。そして、試合の結果だけでなく、この舞台に至るまでの選手たちの努力を少しでも知り、みんなに伝えられたらと思っています。夏休みも気づけば10日が過ぎました。有意義に過ごしてくださいね。

